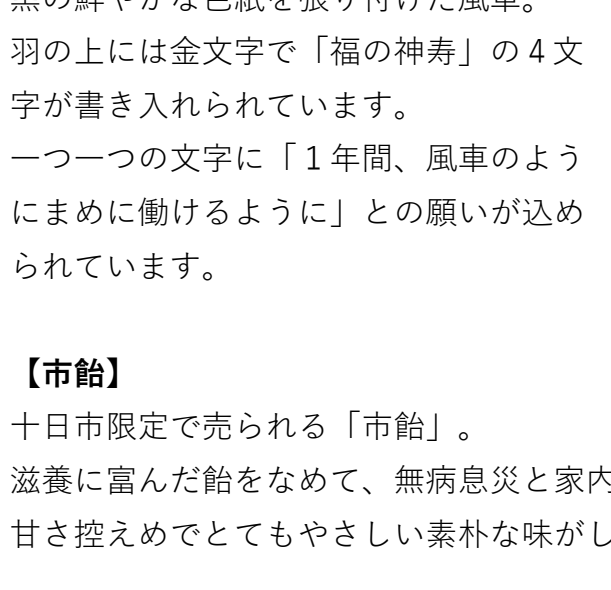
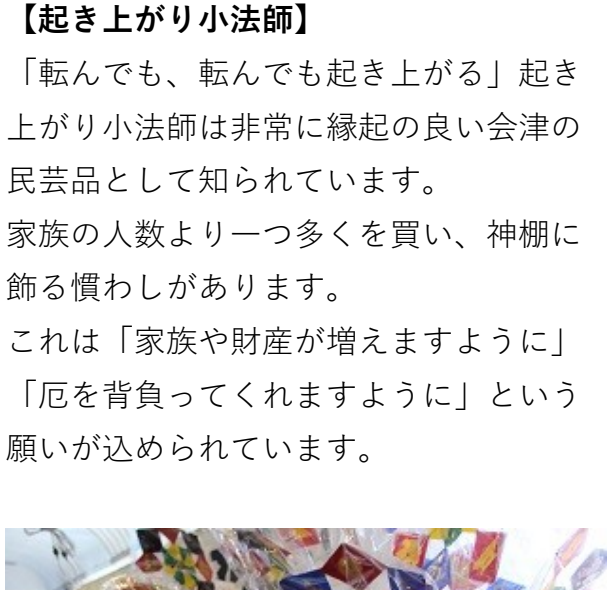


冬のならわし〜会津の「冬の年中行事」をご紹介します〜

ここ会津地方は、古事記に登場するほど古い歴史を持ち、平安時代には慧日寺を開いた徳一が会津の仏教文化の礎を作り、戦国時代には東北の要所としての重要な役割がありました。その歴史の中で培われた独特の文化の中で、広大な自然がもたらしてくれる四季の恵みに感謝しながら、毎年さまざまなお祭りやイベントが行われています。今回のフォトアルバムでは、会津の「冬」を象徴する年中行事を紹介します。

十日市

十日市は、会津地域最大の初市で400年以上も続く会津の伝統行事です。約400店舗もの露店が並び、通りは大勢の人で賑わいます。市神に一年の家族の無事を祈り、「起き上がり小法師」「風車」「市飴」などの縁起物を買って求めます。毎年約15万人が訪れる会津の冬の風物詩となっています。(撮影日：2015/1/10)



【風車】

細い竹を編んで骨組みを作り、赤、青、黒の鮮やかな色紙を張り付けた風車。羽の上には金文字で「福の神寿」の4文字が書き入れられています。

一つ一つの文字に「1年間、風車のよう

にまめに働けるように」との願いが込め

られています。

【市飴】

十日市限定で売られる「市飴」。滋養に富んだ飴をなめて、無病息災と家内安全を願います。

甘さ控えめでとてもやさしい素朴な味がします。

神明神社節分祭

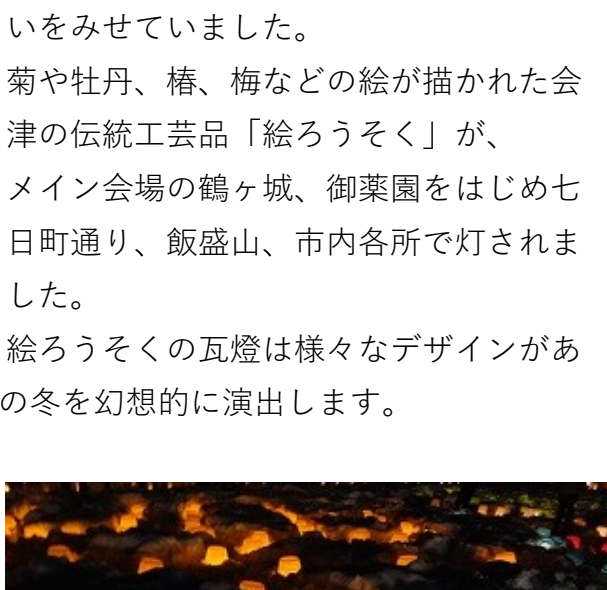
会津若松市の中心市街地にある幹線道路「神明通り」沿いに神明神社があります。商店街の脇にある鳥居をくぐり境内へ進んでいくと、一転して静寂で豊かな空間が広がっています。

節分の日はお天気にも恵まれ、大勢の老若男女が境内を埋め尽くしていました。

「鬼は外、福は内」と豆が蒔かれると、皆両手を高く伸ばして一斉に豆を拾っていました。

豆には当たりがあり縁起物の破魔矢や升がもらえるそうです。

(撮影日：2015/2/3)



会津絵ろうそくまつり



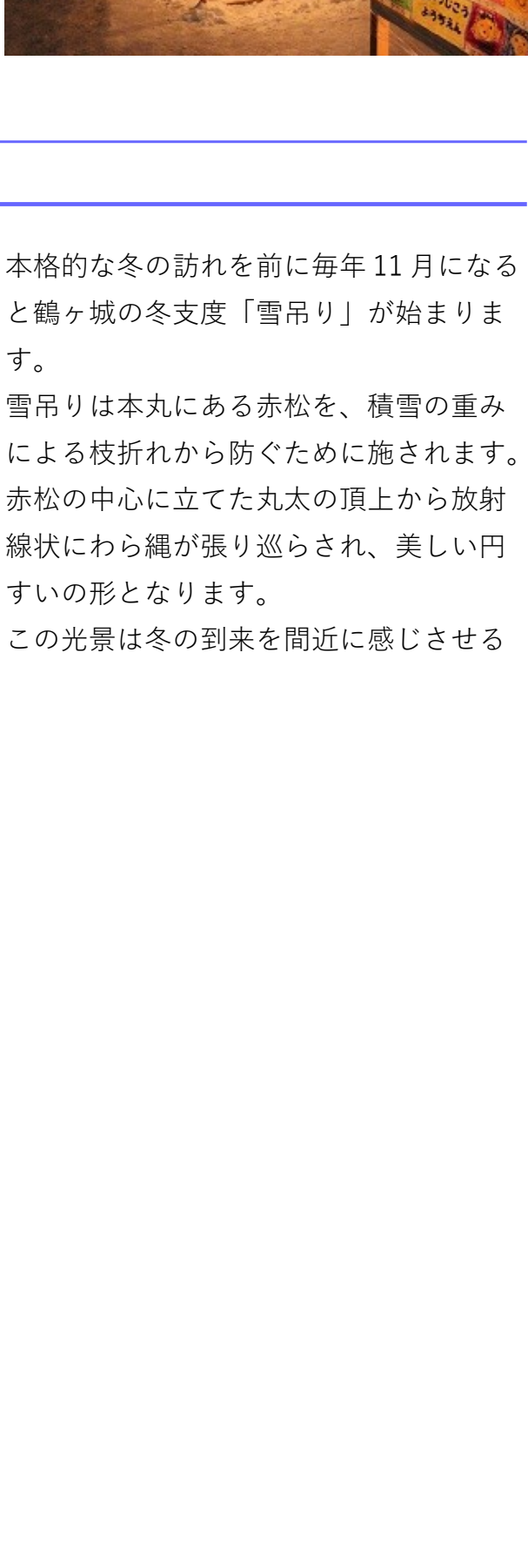
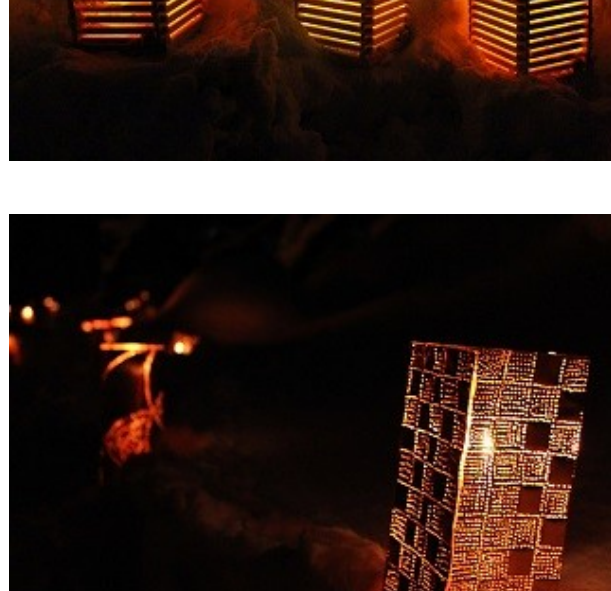
16回目を迎える会津の冬の一大イベント。今年も、大勢の観光客と地元の方で賑わいをみせていました。

菊や牡丹、椿、梅などの絵が描かれた会津の伝統工芸品「絵ろうそく」が、

メイン会場の鶴ヶ城、御薬園をはじめ七日町通り、飯盛山、市内各所で灯されました。

絵ろうそくの瓦灯は様々なデザインがあり、そこから洩れる光が雪面を照らして、会津の冬を幻想的に演出します。

(撮影日：2015/2/13)

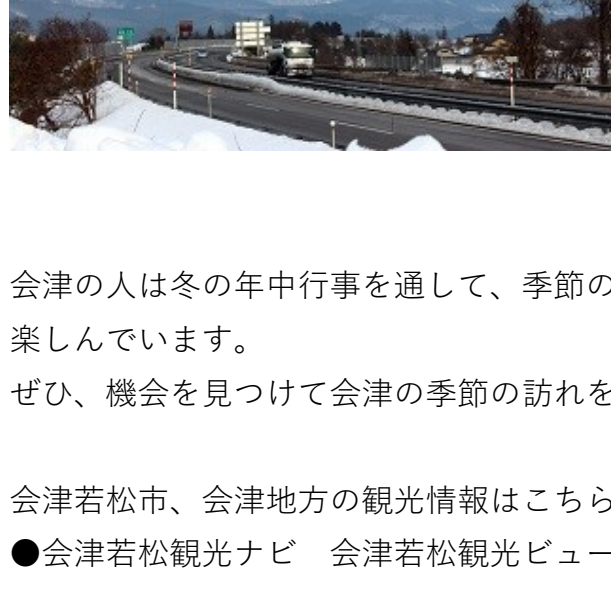


鶴ヶ城 雪吊り作業

本格的な冬の訪れを前に毎年11月になると鶴ヶ城の冬支度「雪吊り」が始まります。雪吊りは本丸にある赤松を、積雪の重みによる枝折れから防ぐために施されます。赤松の中心に立てた丸太の頂上から放射線状にわら縄が張り巡らされ、美しい円すいの形となります。この光景は冬の到来を間近に感じさせる

会津の風物詩となっています。

(撮影日：2015/1/26)



会津若松河東工業団地

冬の会津若松河東工業団地から見る磐梯山です。手前を通る道路は高速道路「磐越自動車道」です。年中行事ではありませんが、この時期の会津地方の風物詩に「キレイな除雪」もあげられるかと思えます。

もちろん、高速道路だけではなく、工業団地内も除雪が行き届いていますよ。

(撮影日：2015/1/26)



会津の人は冬の年中行事を通して、季節の訪れを五感で感じ、厳しくも暖かい会津の冬を楽しんでいます。

ぜひ、機会を見つけて会津の季節の訪れを体感してみたいかでしょうか？

会津若松市、会津地方の観光情報はこちら。

●会津若松観光ナビ 会津若松観光ビューロー

<http://www.aizukanko.com/>

●極上の会津 極上の会津プロジェクト協議会

<http://gokujo-aizu.com/>